

サ責とケアマネが熱く議論

老計10号知らないケアマネも!?

本音で話し、共通認識持とう

今回見直しになった老計10号。身体介護か生活援助かは、古くて新しい問題でもあります。こうした中、老計10号を知らない、そもそも法令を読まないケアマネジャーもいるとかいないとか…。サ責とケアマネの連携が求められる中で、「サ責がケアマネの言いなりになっている」「ケアマネも現場を分かっていない」などさまざまな意見もあります。座談会で熱く語っていただきました。(編集部)

参加者のみなさん (50音順)

- 青木 文江 さん 和の輪、日本ホームヘルパー協会会長
 青地 千晴 さん そらいろケアプラン、神奈川県介護支援専門員協会理事長
 天沼 暢浩 さん なごみ在宅介護サービス日野、日野市訪問介護サービス提供責任者連絡会事務局長
 長浦 美加 さん 荒川サポートセンターかどころ、日本ホームヘルパー協会東京支部役員

司会：川名佐貴子 月刊ケアマネジメント編集長



青木 文江 さん

青地 千晴 さん

天沼 暢浩 さん

長浦 美加 さん

和の輪(埼玉県春日部市)の管理者。昨年より、日本ホームヘルパー協会会長に就任。公務員ヘルパーをへて、事業所を立ち上げ。「人は制度だけでは生きられない」がモットー。

そらいろケアプラン(神奈川県鎌倉市)の管理者・主任ケアマネジャー。昨年より、神奈川県介護支援専門員協会の理事長。単独型の居宅介護支援事業所を立ち上げ、3人のケアマネジャーと働く。

なごみ在宅介護サービス日野(東京都日野市)勤務。サービス提供責任者と相談支援専門員を兼任。日野市サービス提供責任者連絡会の役員も務める。昨年、通信制の大学に通い、社会福祉士を取得。

NPO法人東京ケアネットワークが運営する荒川サポートセンターかどころ(東京都荒川区)勤務。日本ホームヘルパー協会東京支部の役員。工夫次第で利用者が変わることにやりがいを感じている。

司会 まずは皆さんの自己紹介からお願いします。

天沼 なごみ在宅介護サービス日野で、サービス提供責任者と、障害者の相談支援専門員も兼任しています。所属する株式会社日本エルダリーケアサービスは全国展開し

ている会社で、訪問介護だけで約80カ所の事業所があります。障害の訪問もやっています。私自身はサ責を10年以上やっています。2年前から相談事業にもかかわるようになりました。

青木 埼玉県春日部市で、和の輪という訪問介護事業所を運営しています。昨年より、日本ホームヘルパー協会会長も務めています。

立ち上げた2005年当初はケアマネジャーも兼任していたのですが、両方をやることに違和感を抱いて、訪問介護一本に絞りました。ヘルパーが訪問中にミスしても、うちうちだとなんとなく許してしまう。そういうことの積み重ねが、結果的に訪問介護の質を下げちゃうのではないかと。私なりのこだわりです。

長浦 荒川サポートセンターかどころでサ責をしています。運営母体はNPO法人で、小規模多機能型居宅介護が3つ、あとは居宅と訪問があります。日本ホームヘルパー協会東京都支部の役員も務めています。

ヘルパーの仕事が始めたのは2001年で、長年登録ヘルパーとして働いていました。最初勤めた事業所が閉鎖になったのを機に、尊敬する先輩がいた今の法人に移り、今に至ります。ヘルパーの仕事は、自分のかかわり次第で利用者さんが変わる可能性がある。そういうところにやりがいを感じています。

青地 今回、唯一ケアマネジャーとして参加する青地です。昨年春から神奈川県介護支援専門員協会の理事長を務めています。

基礎資格は看護師で、病院やクリニック、措置時代の訪問入浴ナースなどをへて、2001年にケアマネの実務に就きました。最初に勤めた事業所は、福祉用具貸与と併設の居宅だったので、公正中立を目指して独立しました。

辞める当時、鎌倉市の連絡会で役員をしていたので、市に相談したところ、市町村の基準該当サービスなら、法

人格がなくてもすぐに開業できるよと教えていただいたんです。ありがたいことに一緒にやりたいという仲間もいて、今は私含めて3人のケアマネジャーと働いています。

司会 まずは今回の報酬改定について、皆さんどのように感じていらっしゃるか。期待のある反面、そんなにはサービスを使わせないぞという印象も受けるのですが。

青木 まず大きいのは、老計10号の見直しですね。訪問介護サービス区分1-6の「自立支援・重度化防止のための見守りの援助」に9つの項目が追加されたことは、支援を見直すいいチャンスになると思っています。身体介護の定義に、単なる自立支援・重度化防止だけでなく、「ADL・IADL・QOLの観点から」ということが明記されたのもよかったです。生活を重視する訪問介護ということが、しっかり示されたと思います。

早速、全利用者の訪問介護計画を見直しているところですが、生活援助で入っていた人で、身体1生活1に振り分けられそうな人が何人かいますね。

長浦 うちの事業所ではすでに数件、ケアマネジャーと話し合いをしたところ。これまで生活援助の中で血圧を測っている利用者さんがいたのですが、身体に変更になりました。ケアマネジャーにはこれまでの記録も見せて、「こういう趣旨でこういうケアをしているので、身体介護で算定できませんか」と相談しました。ずっとグレーだなと感じていたケースだったので、見直すよききっかけになりましたね。

あとは記録の大切さも感じました。こういう話し合いのときの根拠になります。